

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス事業所ブリエト文字		令和8年 2月 6日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	1	クールダウンができるスペースを確保し、リラックスできる空間と活動する空間に分けている。	学年や障害の特性により、個々にあった活動スペースを準備する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1		障害の特性によっては、十分でないときがあるので、活動の内容を工夫している。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		視覚的支援を行いながら、空間を分けたり、リラックスできる空間を設置している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎日の振り返りの際に、気付いた点などを話し合っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	6		第三者評価を実施していないが、法人内監査を実施しており、結果を検討し業務改善に努めている。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		職員の資質向上のため、事業所内外での研修等に積極的に参加している。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		発達や障害を考慮しながら職員で検討し、支援プログラムをホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		スタッフでカンファレンスを開催し、全員で情報を共有している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個別支援計画を回覧し、内容の情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	ボーディングプログラムを活用しながら、個々の状況を把握している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインに基づき計画を作成し、保護者様からの同意を得て実施しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		1ヶ月の活動表を作成し、バランス良く活動できるようにしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		支援開始前に、その日の利用者を確認したり、配慮事項等を情報共有している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		児発の職員と一緒に振り返りをし、お互いの情報を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		毎日のケース記録で支援の記録を行い、改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		個別支援計画の更新時にモニタリングを行い、計画の見直しを実施している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8		「4つの基本活動」を念頭に置いて活動プログラムを作成し、成功体験を積み、自己肯定感を育めるように支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		生活や活動の中で絵カード等を用い、自己選択する機会を提供し、自主的に様々な経験ができるように工夫している。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		サービス担当者会議やその他の会議には管理者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8			各関係機関との連携が図られているが、不十分な機関もある為、今後見直しが必要である。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		支援学校とは、年間計画や行事等の情報共有を行い、下校時間等の確認を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	1		支援学校との情報交換会は実施されているが、就学後に保育園や幼稚園との情報共有は行われていないため、改善が必要。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6		まだ、学校を卒業した児童がいない為、今後移行支援も視野に入れていきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		今後、児童発達支援センターとの連携を図り、助言や研修を受ける機軸を設け、専門性を高めていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		8		感染症の状況を見ながら交流を図り、相互理解に努めていきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8		自立支援協議会に積極的に参加し、情報交換等を行っている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		送迎時や連絡帳を通して、子供の発達状況等を伝えあい、共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	2	ペアレントトレーニングの研修等は行っていないが、通信等でペアレントトレーニングについて情報提供を行っている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		面談・契約の際に丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		6ヶ月に一回、又は必要に応じて子供と家族の意向を確認し、個別支援計画に反映させている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8		アセスメント実施後に個別支援計画をたて、その内容について説明し、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		必要に応じて、相談、助言等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	4		保護者会の設置がないため、今後の課題となっている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		定期的に通信やHPにて活動内容やその他の情報を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		個人情報のあるファイルは鍵付きの書庫に保管しています。PC端末はパスワード設定する等の管理をしています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		絵カードや写真、ホワイトボード等を活用し、視覚的な配慮を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	1		法人の行事等に地域住民を招待したりし、地域交流を図っている。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			各マニュアルを策定し、訓練を実施しているが、家族への周知が十分でない為、今後検討が必要。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		委員会を設置し、定期的に備蓄の確認や避難訓練、研修を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		面談の際に聞き取りを行うとともに、主治医からの指示書に従い、緊急時対応マニュアルを作成し対応している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		主治医からの指示書を基に、栄養士、支援員と情報を共有し、連携しながら対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8		安全計画を作成し、研修や訓練を実施している。また、毎月安全チェックを実施し、危険な箇所については、改善を図っている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		通信等で安全計画に基づく内容を周知している。今後も連携強化を図っていきたい。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		毎月、虐待防止のための委員会を開催している。また、毎年研修会を実施し、虐待防止に務めている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			現在、やむを得ず身体拘束を行っている方はいないが、今後十分に検討しながら決定していきたい。